

令和2年度執行事務事業

施策名	基本事業	番号	事務事業名
出流原PA周辺開発の推進	佐野インランドボートの安定した運営	1	佐野インランドポート活用促進事業
		2	佐野インランドポート指定管理事業

事務事業名		佐野インランドポート活用促進事業						評価区分(事前評価・事後評価)		事後評価(A・B表)	
								担当組織	担当部	産業文化部	担当課
政策体系	基本目標	1 魅力ある産業で賑わう活力あるまちづくり						担当係	商工振興係	担当課長名	小倉 浩史
	政 策	1 産業振興で活力あるまちづくり						事業区分	新規事業・継続事業		継続事業
	施 策	2 出流原PA周辺開発の推進							実施計画事業・一般事業		実施計画事業
	基本事業	3 佐野インランドポートの安定した運営							市単独事業・国県補助事業		市単独事業
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名	任意の事業・義務的事业		任意の事業		
	10685	一般	7	1	3	佐野インランドポート活用促進事業	実施方法		直営		
	事業計画	単年度繰り返し	事業期間	30年度～令和3年度	根拠法令 条例等	佐野インランドポート条例 佐野インランドポート条例 施行規則	事業分類		施設維持管理事業(市以外が主体)		
リーディングプロジェクト							該当なし				
市長市政公約							該当なし				

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

①手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)	事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)		令和2年度実績(令和2年度に行った主な活動内容)						
	・佐野インランドポートを運営する指定管理者と市が協力して、ポートセールスを実施する。		佐野インランドポートの活用促進のため、企業等に対して施設の周知を図るとともに、利用者の確保を図るため、荷主企業や船会社、物流事業者などへポートセールスを実施した。						
			活動指標	単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (実績)	R3年度 (見込)
			ポートセールス件数	社		175	117	50	
②対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか？)									
①荷主・物流事業者 ②船会社	対象指標	単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (実績)	R3年度 (見込)		
	荷主・物流事業者	社		161	106	50			
	船会社	社		14	11	0			
目的	③意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか？)								
	荷主・物流事業者の佐野インランドポートの利用企業を増やすと共に、船会社のデポ・CRU契約を得る	成果指標	単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (実績)	R3年度 (目標)	
		佐野インランドポート利用荷主・物流事業者等の数	社		154	178	321		
		契約船会社数	社		10	10	11		
④結果(どのような結果に結びつけますか？)									
佐野インランドポートにおける計画に基づくコンテナ取扱数量の確保並びに施設拡張の検討	上位成果指標	単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (実績)	R3年度 (目標)		
	取扱コンテナ数	TEU		5,202	8,339	8,383			
	施設拡張の検討	箇所							

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	H29年度(実績)		H30年度(実績)		R1年度(実績)		R2年度(実績)		R3年度(目標)	
	国庫支出金	千円										
	県支出金	千円										
	地方債	千円										
	その他	千円										
	一般財源	千円			1,072		1,151		1,017		1,093	
	事業費計(A)	千円	0		1,072		1,151		1,017		1,093	
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
				委員報酬	16	委員報酬	15	委員報酬	15	委員報酬	16	
				旅費	73	旅費	134	旅費	0	旅費	75	
				委託料	972	委託料	990	委託料	990	委託料	990	
				負担金	12	負担金	12	負担金	12	負担金	12	
人件費	正規職員従事人数	人			3		2		2		2	
	のべ業務時間	時間			1,000		1,000		1,000		1,000	
	人件費計(B)	千円	0		3,821		3,815		3,637		3,637	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	0		4,893		4,966		4,654		4,730	

事務事業名	佐野インランドポート活用促進事業	担当部	産業文化部	担当課	産業立市推進課	担当係	商工振興係
-------	------------------	-----	-------	-----	---------	-----	-------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	佐野インランドポートの運営を行う者を指定管理者制度により、平成28年6月に茨城県坂東市の吉田運送有限会社を指定し、平成29年度11月に供用開始した。なお、荷主が佐野インランドポートを利用する際には、通関手続きや船会社の選定など、必要とする手続きが生じることから事前の営業活動(ポートセールス)が必要となる。また、ポートセールスを行うことによって施設の周知を図り、佐野インランドポート利用者の確保を図る。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	平成28年3月29日、国土交通省関東地方整備局が策定した都市整備の方針となる「首都圏広域地方計画」にインランドポート整備に関する支援が盛り込まれた。また、コンテナラウンドユースは、国土交通省や経済産業省など、海上コンテナ物流に重要な施策と捉えており、また、それを実施するための施設として内陸デポが重要視されている。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	荷主や物流関係者がインランドポートを利用するための調整には日数を要することから、継続したポートセールスが必要であると助言を受けた。また、市議会においては「佐野インランドポートの発展、安定運営が、本市の企業誘致の促進、雇用の創出等、経済の伸展による地域の振興につながる」との意見を頂いている。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	
	結びついている	理由・改善案 佐野インランドポートの整備は、活力ある産業の振興及び地域経済の活性化を図り、「魅力と活力ある産業づくり」を実現することになるため、政策体系に結びつく事業である。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	
有効性 評価	市が行わなければならない	理由・改善案 誰もが利用しやすく、公共性の高い施設運営を行うために、市と指定管理者が一体となった準備運営が必要であるため。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	
	妥当である	理由・改善案
効率性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	
	成果向上余地がない	理由・改善案 ポートセールスを実施している中では、前向きな利用意向を示した荷主もあり、市と指定管理者が一体となったポートセールスは荷主獲得の有効な手段である。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	
公平性 評価	類似事務事業はない	理由・改善案 類似事務事業名
	* 類似事務事業があれば、名称を記入	
	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	
総合 評価	削減の余地はない	理由・改善案 施設運営に支障をきたすこととなるため、事業費の削減の余地はない。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	
	受益者負担を求める必要がない	理由・改善案 佐野インランドポートの安定した運営を図ることは、魅力と活力ある産業づくりに貢献するものであり、結果的には受益者は市民全体である。そのため受益者負担は特定されず、受益者負担を求める必要がない。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)	
	指定管理の事業計画に記された年間想定貨物量を超えた貨物量を、安定して取り扱うようになった場合。	

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性		(2) 改革・改善による期待効果		(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																								
現状維持(従来通り実施)		廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。																										
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)		<table><tr><td colspan="2"></td><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><td colspan="2"></td><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td>○</td><td>×</td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td>×</td><td>×</td></tr></table>						コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×
		コスト																										
		削減	維持	増加																								
成果	向上																											
	維持		○	×																								
	低下		×	×																								

事務事業名		佐野インランドポート指定管理事業						評価区分(事前評価・事後評価)		事後評価(A・B表)		
								担当組織	担当部	産業文化部	担当課	産業立市推進課
政策体系	基本目標	1	魅力ある産業で賑わう活力あるまちづくり						担当係	商工振興係	担当課長名	小倉 浩史
	政 策	1	産業振興で活力あるまちづくり						事業区分	新規事業・継続事業		継続事業
	施 策	2	出流原PA周辺開発の推進							実施計画事業・一般事業		一般事業
	基本事業	3	佐野インランドポートの安定した運営							市単独事業・国県補助事業		市単独事業
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名		任意的事業・義務的事業		任意的事業		
	10684	一般	7	1	3	佐野インランドポート指定管理事業		実施方法		指定管理者		
事業計画	単年度繰返し	事業期間	30年度～令和3年度	根拠法令 条例等	佐野インランドポート条例 佐野インランドポート条例施行規則			事業分類		施設維持管理事業(市以外が主体)		
						リーディングプロジェクト		該当なし				
								市長市政公約		該当なし		

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

①手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)

事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)		令和2年度実績(令和2年度に行った主な活動内容)					
指定管理者制度を活用して佐野インランドポートの安定した運営を行い、港湾物流の中心として機能させることによって、物流関連企業及び輸出入企業の誘致の促進並びに、地元産業の国際競争力の強化を図ることをもって交流拠点都市の実現と活力ある産業の振興及び地元経済の活性化を目指す。	指定管理者制度を活用して、佐野インランドポートの運営を実施した。						
	活動指標	単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (実績)	R3年度 (見込)
	指定管理による施設	箇所	1	1	1	1	

②対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか？)

施設利用者	対象指標	単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (実績)	R3年度 (見込)
	取扱いコンテナ数	TEU	453	5,202	8,339	8,383	
	利用人数	人	256	580	442	268	

③意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか？)

目的	事業計画に基づく想定貨物量を超える取扱いができるようになる。	成果指標	単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (実績)	R3年度 (目標)
		取扱実績／想定貨物量	%	33.2%	127.1%	101.8%	76.8%	

④結果(どのような結果に結びつけますか？)

事業計画に基づく想定貨物量を超える取扱いができるようになる。	上位成果指標	単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (実績)	R3年度 (目標)
	取扱実績／想定貨物量	%	33.2%	127.1%	101.8%	76.8%	

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	H29年度(実績)		H30年度(実績)		R1年度(実績)		R2年度(実績)		R3年度(目標)	
	国庫支出金	千円										
	県支出金	千円										
	地方債	千円										
	その他	千円							221		329	
	一般財源	千円	123		10,068		8,963					
	事業費計(A)	千円	123		10,068		8,963		221		329	
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			役員費	102	需用費	0	需用費	149	需用費	50	需用費	161
			委託料	21	役員費	118	役員費	117	役員費	113	役員費	109
					委託料	9,902	委託料	8,640	使用料及び賃借料	58	使用料及び賃借料	59
					使用料及び賃借料	49	使用料及び賃借料	58				
	正規職員従事人数	人	2		3		2		2		2	
	のべ業務時間	時間	300		1,000		1,000		1,000		1,000	
	人件費計(B)	千円	1,145		3,821		3,815		3,637		3,637	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	1,268		13,889		12,778		3,858		3,966	

事務事業名	佐野インランドポート指定管理事業	担当部	産業文化部	担当課	産業立市推進課	担当係	商工振興係
-------	------------------	-----	-------	-----	---------	-----	-------

(3)事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	佐野インランドポートの運営を行う者を指定管理者制度により、平成28年6月に茨城県坂東市の吉田運送有限会社を指定した。平成29年度に供用開始するため、この間に荷主が佐野インランドポートを利用するための準備として、船会社の変更など、必要とする手続きが生じるため、事前のポートセールスが必要となる。また、平成28年度から供用開始に向けたシステムづくりを実施することで、佐野インランドポート利用者の確保を図る。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	平成28年3月29日、国土交通省関東地方整備局が策定した都市整備の方針となる「首都圏広域地方計画」にインランドポート整備に関する支援が盛り込まれた。コンテナラウンドユースは、国土交通省や経済産業省など、海上コンテナ物流に重要な施策と捉えており、また、それを実施するための施設として内陸デポが重要視されている。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	荷主や物流関係者から、インランドポート供用開始までのポートセールスが重要であり、荷主がインランドポートを利用するための調整には日数を要することから、平成28年度より着手すべきであると助言を受けた。また、市議会から「指定管理者の収支が、一日でも早く黒字に転化するよう、良好な施設運営を期待している」との意見を頂いている。

(4)前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	
	結びついている	理由・改善案 佐野インランドポートの活用は、活力ある産業の振興及び地域経済の活性化を図り、「魅力と活力ある産業づくり」を実現することになるため、政策体系に結びつく事業である。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	
有効性 評価	市が行わなければならない	理由・改善案 誰もが利用しやすく、公共性の高い施設運営を行うために、市と指定管理者が一体となった準備運営が必要であるため。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	
	妥当である	理由・改善案 対象と意図は妥当であるため、見直す必要はない。
効率性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	
	成果向上余地がない	理由・改善案 本施設の管理運営については、指定管理者制度を活用することが最善の方策である。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	
公平性 評価	類似事務事業はない	理由・改善案 類似事務事業名 * 類似事務事業があれば、名称を記入
	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	
	削減の余地はない	理由・改善案 施設運営に支障をきたすこととなるため、削減の余地はない。
総合 評価	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	
	受益者負担を求める必要がない	理由・改善案 佐野インランドポートの安定した運営を図ることは、魅力と活力ある産業づくりに貢献するものであり、結果的には受益者は市民全体である。そのため受益者負担は特定されず、受益者負担を求める必要がない。
⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)		
施設の廃止		

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性		(2) 改革・改善による期待効果		(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																							
現状維持(従来通り実施)		廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。																									
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)		<table><tr><td colspan="2"></td><td colspan="3">コスト</td></tr><tr><td colspan="2"></td><td>削減</td><td>維持</td><td>増加</td></tr><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td>○</td><td>×</td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td>×</td><td>×</td></tr></table>					コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×
		コスト																									
		削減	維持	増加																							
成果	向上																										
	維持		○	×																							
	低下		×	×																							